

産経新聞

平成19年(2007)日刊23352号

11/26 [月]



産業経済新聞(サンケイ)
THE SANKEI SHIMBUN

発行所 ©産業経済新聞東京本社2007
〒100-8077東京都千代田区大手町1-7-2
☎ 東京(03)3231-7111(大代表)

廃ガラスで水質浄化

建設業の日本建設技術
(佐賀県唐津市)は、佐
賀大学低平地研究センタ
ーの荒木宏之教授らの研
究成果をもとに、廃ガラ
スから産業廃水の水質浄
化にも利用できる機能性
発泡ガラスを製造する技

術を開発した。

水質を悪化させるアン
モニアやカドミウムなど
の重金属を除去すること
が可能で、いけすや水
槽、河川だけでなく、畜
産や工場の廃水処理に幅
広く利用できるという。
産業化を委託していた科
学技術振興機構(JST)
が今月19日、成功を
認定したと発表した。

リサイクル困難な液体
容器などに使われる有色
ガラスや建設廃材の板ガ
ラスの有効利用が求めら
れている。日本建設技術
も建設廃材を発泡ガラス
化して利用していたが、
従来の発泡ガラスは水に
浮くため用途が限られて
いた。新技術は、発泡剤
の種類や添加量、焼成時

間を最適化することで内
部気泡の大きさや連続性
を調整し、比重を水より
重くできる。